

「苦手科目と向き合う」 高2 Tさん (高校推薦入試)

私は数学が大の苦手でした。今も苦手ですが、受験期は特に苦痛なものでした。英語と国語が得意だった私は、数学はある程度のところまで出来れば良いと考え、試験も英語と国語で補えると思っていました。しかし、受験勉強を進めていくと自分の数学の実力の無さを深く思い知らされました。そして他の科目で補えるだろうという妥協した考え方は得意科目である英語や国語にも響き、全体的に点数が落ちてしまいました。

そんな時、私は明大明治の学校説明会へ行きました。校風や伸び伸びとした環境に魅了され、この高校に入りたいという思いが確信に変わりました。そこから勉強に対する意欲が湧き、勉強法を一から見直しました。それまではとにかく時間をかけて勉強していましたが、非効率的で無駄な時間が多いことに気がつきました。そこで、時間ではなく「どれだけ決められた時間でできるか」という勉強の密度を重視して取り組むようにした結果、時間を効率よく使い、計画を立てながら自主的に勉強できるようになりました。また、生活リズムを整えることで勉強に集中できると考えて、受験の3ヶ月前くらいから朝5時頃に起き、前日に解けなかった数学の問題を解いたり、時間を計って基礎的な計算問題を解きました。その結果、過去問を解く時には時間配分を考えて応用問題まで解けるようになり、何よりも以前まで多発していたケアレスミスが一段と減りました。また、本番に焦って頭が真っ白にならないように、受験1週間前には本番のシミュレーションをしながら過去問を解いていました。今考えるとハードでしたが、「1つずつ目標を立てて習慣化していくことで目標は達成できる」ことを身に染みて感じました。皆さんも是非、家での勉強法を小さなことからでも主体的に考えて取り組んでみてください。